

区障がい者相談支援センターの自己評価シート

事業所名		天王寺区障がい者相談支援センター				変更又は改善内容			
0 相談支援事業所の概要		平成28年度				平成29年度			
0-1 実施状況について									
法人名称	社会福祉法人 大阪府肢体不自由者協会					<div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>昨年度(28年度)から変更がない 場合は今年度(29年度)は記載を 省略以下すべて</p> </div>			
法人所在地	大阪市中央区法円坂1丁目1-35アネックスパル法円坂内								
事業所名称	障害者生活支援センター・みるみる								
事業所所在地	大阪市天王寺区真法院町7-28 1階								
電話番号	06-6772-2323								
実施曜日	月曜日から金曜日								
実施時間	9:00~17:30								
同一場所以外で実施しているその他の事業	特定相談支援事業、一般相談支援事業								
実施法人で実施しているその他の事業	共同生活援助・生活介護・就労継続支援B型・居宅介護 移動支援・重度訪問介護・就労移行支援・自立訓練（生活訓練）・施設入所支援								
事業所の特長	運営法人は、当センターのほかにも相談支援事業所を3か所持っており、連携により知識や支援ノウハウの共有を行っている。また必要に応じてグループホームや入所施設・通所施設など幅広い社会資源とつながっている。								
0-2 事務室等について		平成28年度				平成29年度			
事務室	13.2㎡	<input checked="" type="checkbox"/> 専用	<input type="checkbox"/> 共用			<input type="checkbox"/> 専用	<input type="checkbox"/> 共用		
相談室	7.5㎡	<input checked="" type="checkbox"/> 専用	<input type="checkbox"/> 共用			<input type="checkbox"/> 専用	<input type="checkbox"/> 共用		
その他		<input type="checkbox"/> 専用	<input type="checkbox"/> 共用			<input type="checkbox"/> 専用	<input type="checkbox"/> 共用		
0-3 職員の状況		平成28年度				平成29年度			
		常勤職員		非常勤職員		常勤職員		非常勤職員	
		専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務	専任	兼務
		2人		1人					
0-4 職員の勤務体制		平成28年度				平成29年度			
		特定相談支援・一般相談支援事業と兼務で3名（内1名管理者）3名体制							
0-5 ヒアカウンセリングの実施状況		平成28年度				平成29年度			
		障がい名	実施曜日	実施時間	障がい名	実施曜日	実施時間		
		身体障害	月～金（原則予約制）	9:00～17:30	肢体不自由	月～金（原則予約制）	9:00～17:30		

区障がい者相談支援センターの自己評価シート

事業所名	天王寺区障がい者相談支援センター	変更又は改善内容
1 事業運営全般	平成28年度	平成29年度
1-0 理念・基本方針	<p>障害者が地域で自分らしく暮らすことができるように支援していくことを基本方針とし、そのために次のような取り組みを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○障害者の権利擁護に積極的に取り組む ○ケアマネジメントの手法に基づく、利用者の立場にたった総合的な支援を行う ○地域ニーズに合わせた社会資源の改善と開発に積極的に取り組む ○利用者が安心して地域生活が送れるように強固な支援ネットワークの構築に努める ○障害者の地域移行支援に積極的に取り組む 	

区障がい者相談支援センターの自己評価シート

資料3-1

事業所名		天王寺区障がい者相談支援センター		変更又は改善内容	
1-1 運営体制		平成28年度		平成29年度	
1-1-① 事業運営の評価		評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取り組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取り組みの改善点及び次年度の取り組み）
事業の理念・基本方針を実現するための具体的な取り組みを示すものとして、委託期間全体を通じた計画が定められている。	3	毎年事業計画を策定し、法人理事会及び評議員会にて意見を頂いている。また、さまざまな研修などを通じた人材育成にも力を注いでいる。	3		
		今後の福祉制度の動向に注視しながらより具体的な計画を策定していきたい。			
委託期間全体を通じた計画を踏まえて年度ごとの事業計画を策定している。	3	年度ごとの事業計画に基づき、法人の評議員会、理事会においても事業計画の報告・評価等を行っている。	3		
		相談支援事業所に求められる役割は多様化してきている。今後もさまざまな意見に耳を傾けながらより良い計画の策定に努めたい。			
事業の評価の結果は、次期計画に反映している。	3	自立支援協議会でのご意見や、法人の理事会及び評議員会の意見を踏まえている。	3		
		自立支援協議会における運営評価の時期がこれまでより早まったため、その利点を生かしていきたい。			

区障がい者相談支援センターの自己評価シート

事業所名	天王寺区障がい者相談支援センター		変更又は改善内容	
	平成28年度		平成29年度	
1-2 適切な相談支援の実施	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取り組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取り組みの改善点及び次年度の取り組み）
1-2-① 自己決定の尊重	4	<p>利用者の自己選択の機会を奪ってしまわないようタイミングや距離感を大切にして利用者に向き合う心がけている。</p> <p>ILP（自立生活プログラム）の実施等も考えていきたい。</p>	4	
1-2-② エンパワメントの重視	4	<p>なるべく利用者に支援の内容が分かり、自己決定を促せられるように場所の設定や説明などに工夫している。一方通行の支援にならぬよう利用者のエンパワメントを意識した相談支援に取り組んでいる。</p> <p>さまざまな障害に対応できるよう職員のスキルを整えていく。これからもご本人が本来持っている力をさらに高めてもらえるような支援を目指していきたい。</p>	4	
1-2-③ コミュニケーションに関する配慮	4	<p>○△×の札や①②③の番号札のほか、手製のカードやイラスト等を用いてできる限り対応している。また、職員が手話講座を受講したりしている。</p> <p>今後もできる限りの環境整備に努めたい。</p>	4	
	4	<p>面談時には関係者等に意思確認の方法などを聞き、生活状況や周辺の状態なども知人等に確認しながら、コミュニケーションが困難な方の意思伝達の手段について早期に確立できるように心がけている。</p> <p>コミュニケーション手段の確立のみならず、誰もが安心して相談できる環境の整備に努めたい。</p>	4	
	4	<p>面談の際にはご本人のことをよく知る人に同席してもらうなど、可能な限りの環境整備を行っている。</p> <p>ハード面ソフト面ともに利用者が安心して相談できる環境を整え、今後も各々の障害に応じた対応ができるように柔軟に取り組む。</p>	4	

区障がい者相談支援センターの自己評価シート

事業所名		天王寺区障がい者相談支援センター		変更又は改善内容	
1-2-④ 権利擁護		評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取り組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取り組みの改善点及び次年度の取り組み）
+	相談支援を進めるにあたっては、常に利用者の立場を擁護し、ニーズ表明を支援・代弁することにより、問題解決力や様々な支援を活用する力を高めていけるような支援に努めている。	4	常に権利擁護の視点を持って相談支援に臨むよう、スタッフの力を高めていくとともに、利用者自身がしっかりとした権利意識を育めるようエンパワメントの視点を持って支援している。	4	
			関係機関や、利用するサービスなどあらゆる仕組みを利用者に分かり易く伝えられるように、情報を集めコミュニケーションの手段や柔軟な支援策を提示できるような職員の勉強会を開催する。		
+	人権侵害が発生した場合にはその解決のために積極的に対処している。	4	職員の人権研修に当事者の講師を招へいするなど、より当事者視点に立った人権意識の向上に法人全体で取り組んでいる。	4	虐待や差別解消等に関し、行政主催の研修だけでなく、法人内に設置している虐待防止委員会や研修プロジェクトチームによる人権研修なども受講し、職員の意識向上に努めている。
			内外における人権研修を受講するなど、職員の人権意識の向上に努めたい。		
+	虐待が危惧される場合は、関係行政機関と連携し適切な対応を行っている。	4	虐待等については区担当者と連携し、必要に応じて会議に出席するなどしている。	4	
			大阪市主催の虐待対応研修をはじめとする研修等への参加により、今後も適切な対応が行えるよう努める。		

区障がい者相談支援センターの自己評価シート

事業所名	天王寺区障がい者相談支援センター		変更又は改善内容	
	平成28年度		平成29年度	
1-3 地域・他機関との交流・連携	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取り組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取り組みの改善点及び次年度の取り組み）
1-3-① 他関係機関との連携				
担当区域の地域自立支援協議会に積極的に参加し、様々な取組を提案するなど、協議会の活性化に努めている。	3	区自立支援協議会の相談会や事例検討に参加し、活性化に向けて取り組んでいる。	4	年4回開催された相談会に参加したほか、29年度は新たな日中活動系部会の立ち上げ等新たな仕組み作りに向け、各委員とともに取り組んだ。
		部会のあり方等をはじめ、よりよいものができるよう努力していきたい。		
協働する関係機関や関係団体等が増え、連携が深まっている。	3	困難事例や相談ケースを通して、関係団体との連携が生まれると共に、自立支援協議会の勉強会や見学会を通して、交流が出来てきた。	4	多分野の連携が不可欠である困難事例も多くみられ、例えば触れ障がい者の支援をおおして司法関係者とのつながりが深まるなど、連携する関係機関は障がい福祉分野以外にも広がってきた。
		当事者の視点を活かしながら更に積極的に参加していきたい。		
1-3-② 地域の障がい者の状況把握	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取り組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取り組みの改善点及び次年度の取り組み）
相談者に限らず、地域の障がい者を取り巻く状況や課題はおおむね把握できている。	3	地域自立支援協議会や地域福祉アクションプランへの参加等により、できる限り把握に努めている。	3	
		地域へのアンテナを張り、今後も地域課題の把握に向け、努力していきたい。		
障がい者支援機関のみならず地域の福祉・労働・教育・保健医療機関と定期的な会議を開催する等によって、ニーズの把握に努めている。	3	自立支援協議会以外では個別のケース会議の開催が主ではあるが、加盟している当事者団体の会議等を通じ、福祉・労働・教育ほか各分野との繋がりを強め、ニーズの把握に努めている。	4	他分野との連携が必要な相談ケースが日々増えてきており、ケース会議の開催等を通じて各分野との繋がりを強め、ニーズの把握に努めている。
		多分野の連携が必須である困難事例も多くみられるため、更につながりを強化していきたい。		
アウトリーチ活動に取り組むことにより、ニーズの把握に努めている。	3	訪問の場所・時間は問わず、可能な限り柔軟にアウトリーチ活動に取り組んでいる。	3	
		自ら声を上げられない方々の支援にもつなげられるよう、アウトリーチを更に意識し活動したい。		

区障がい者相談支援センターの自己評価シート

事業所名		天王寺区障がい者相談支援センター		変更又は改善内容	
1-3-③ 地域の社会資源の把握		評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取り組み）	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取り組みの改善点及び次年度の取り組み）
a	サービス提供事業所や専門相談機関を把握している。	3	パンフレット等の資料は多く収集できているが、見学等による実態把握がまだまだ追いついていない。	3	
			スタッフの足による情報収集に努めていきたい。		
b	学校園・ハローワークなど関連機関の情報を収集している。	3	職員が支援学校の進路懇談会やに学校見学会に参加するなど、適宜情報収集に取り組んでいる。	3	
			引き続き関連機関との連携や情報収集の取り組みを続ける。		
c	民生委員、地域ネットワーク委員、ボランティア団体などを把握している。	3	地域の取り組み（地域福祉アクションプラン）に参加し、地域ネットワークの把握に努めている。	3	地域の取り組み（地域福祉アクションプラン）に参加し、地域ネットワークの把握に努めているが、全体としてはまだまだインフォーマルな社会資源は生かされていない。
			日々の支援の中では公的な社会資源にとらわれがちであるため、地域との交流を積極的に進め、インフォーマルなものも含めた社会資源の把握に努める。		
d	駅や図書館、スポーツセンターなどの公共施設や、金融機関や飲食店、商店などの民間施設、障がい者用トイレやエレベーター等の設備の情報を収集している。	3	冊子やインターネットによるものはもちろん、時には障害当事者職員による実地検証も行い、さまざまな情報を収集している。	3	
			集めた情報をわかりやすく伝えられるよう工夫していきたい。		

事業所名		天王寺区障がい者相談支援センター		変更又は改善内容	
1-3-④ 社会資源の改善・開発に向けた取組み	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取組み）		評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取組みの改善点及び次年度の取組み）
a	3	既存のサービスの活用だけでなく、既存の社会資源の「改善」や新たな社会資源の「開発」に向けて取り組んだ。	天王寺区内の居宅介護支援・訪問介護事業所などに障害福祉制度の説明や助言等を積極的におこなっている。	3	
			公的な資源にとらわれがちなため、新たな社会資源の開発につなげたい。		
1-3-⑤ 支援困難事例への積極的な対応	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取組み）		評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取組みの改善点及び次年度の取組み）
a	4	多問題を抱えた事例や、問題が長期にわたって継続し、解決の糸口を見つけないことが困難な事例など支援困難事例への対応を積極的に行っている。	いくつかのライフステージに渡り、長期的にかかわることが想定されるケースや、障害のある親による子育てについての相談などが増えてきている。また、法人内の他の相談支援事業所と事例検討等も行っている。	4	いわゆる8050問題など、障がい福祉分野だけでは支えきれないケースが増えてきている。また、法人内の他の相談支援事業所と事例検討等も行っている。
			さまざまな研修等を通して、困難事例に対応できるよう職員の技量向上を図りたい。		
1-3-⑥ 地域住民への周知・啓発的活動の実施	評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細、下段：今後の取組み）		評価点	評価の詳細（上段：自己評価の詳細の変更点、下段：今後の取組みの改善点及び次年度の取組み）
b	4	障がい者相談支援センターは、自らの役割について地域住民に対して積極的な周知を図っている。	パンフレットやホームページのほか、大阪市障がい者基幹相談支援センターが作成した区障がい者相談支援センター周知チラシ等も活用している。	4	センター案内のチラシを区役所に置いていただくほか、ホームページ等により周知広報を行っている。
		地域住民との交流や講演会の開催等を通じて、障がい者が地域で共に生きていく意義をはじめ、啓発的活動に積極的に取り組んでいる。	H28年6月には障害の有無を問わず参加していただけるピア・カウンセリング体験講座を開催した。		センターの業務として個別のケース対応に終始し、行事開催などによる啓発活動は充分とは言えない。
	4		地域の求めに応じたタイムリーな行事の開催等を考えていきたい。	3	

区障がい者相談支援センターの自己評価シート

事業所名	天王寺区障がい者相談支援センター	変更又は改善内容
1-4 その他の取組み	平成28年度	平成29年度
	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内の取組み「友の会行事」等に協力。 ・大阪府高次脳機能障がい地域支援ネットワーク体制整備事業への参画 ・障害当事者によるバリアフリー情報の収集や実地確認 	

区障がい者相談支援センターの自己評価シート

事業所名		天王寺区障がい者相談支援センター					変更又は改善内容										
2 日々の相談支援業務		平成28年度					平成29年度										
2-1 継続支援対象者数																	
①利用登録者(継続支援対象者)の人数(指定相談支援を除く)		前年度末の登録者数	当年度新規登録者数	当年度登録解除者数	当年度未登録者数	前年度末の登録者数	当年度新規登録者数	当年度登録解除者数	当年度未登録者数								
障がい種別	身体障がい	視 覚	1	0	0	1	1	0	0	1							
		聴 覚	0	0	0	0	0	0	0	0							
		肢 体	2	1	0	2	2	0	0	2							
		内 部	0	0	0	0	0	0	0	0							
		計	3	1	0	3	3	0	0	3							
	難 病	0	0	0	0	0	0	0	0	1							
	知的障がい	5	0	1	4	4	0	0	3								
	精神障がい	3	0	1	2	2	1	0	3								
	障がい児	1	0	0	1	1	0	0	1								
	重複障がい	2	1	0	3	3	0	0	3								
その他	0	0	0	0	0	0	0	0									
合 計	14	2	2	13	13	1	0	14									
②指定特定相談支援を実施した実人数		身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	計	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	計						
		9人	4人	12人	3人	28人	8人	4人	9人	2人	23人						
2-2 相談支援内容		平成28年度					平成29年度										
①延べ相談件数		福祉サービス	社会資源	社会生活力	ピアカン	権利擁護	専門機関	その他	計	福祉サービス	社会資源	社会生活力	ピアカン	権利擁護	専門機関	その他	計
障がい種別	身体障がい	視 覚	2	12	0	0	0	8	22	5	10	0	0	0	0	4	19
		それ以外	3	1	0	0	0	1	2	7	8	2	0	0	1	2	13
		聴 覚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		それ以外	1	0	0	0	0	1	0	2	2	1	0	0	0	2	5
		肢 体	3	1	0	0	0	0	17	21	4	1	0	2	0	0	1
	それ以外	30	11	1	4	0	0	14	60	20	12	2	0	0	1	13	48
	内 部	5	3	0	0	0	5	25	38	0	0	0	0	0	0	0	0
	それ以外	5	0	0	0	0	0	13	18	52	2	1	0	0	1	12	68
	計	10	16	0	0	0	5	50	81	9	11	0	2	0	0	5	27
	それ以外	39	12	1	4	0	2	29	87	82	17	3	0	0	5	27	134
難 病	4	1	0	0	0	2	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	
それ以外	2	4	0	1	1	0	3	11	5	1	0	0	0	0	0	6	
知的障がい	0	0	0	0	0	0	4	4	6	1	0	0	0	0	4	11	
それ以外	23	9	0	0	0	1	22	55	55	30	0	0	1	3	12	101	
精神障がい	0	0	0	1	0	0	8	9	2	1	0	0	0	1	249	253	
それ以外	53	16	0	1	0	4	240	314	225	77	0	0	0	9	44	355	
障がい児	2	0	0	0	0	0	12	14	0	0	0	0	0	0	1	1	
それ以外	2	3	0	0	0	1	11	17	4	3	0	0	0	0	0	7	
重複障がい	2	2	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	
それ以外	5	12	0	0	0	1	5	23	8	3	0	0	0	1	10	22	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
それ以外	25	11	0	3	0	0	58	97	13	9	0	0	0	1	45	68	
合計	18	19	0	1	0	7	75	120	17	13	0	2	0	1	259	292	
それ以外	149	67	1	9	1	9	368	604	392	140	3	0	1	19	138	693	
総合計	167	86	1	10	1	16	443	724	409	153	3	2	1	20	397	985	
②相談の実施方法		電話相談	来所相談	訪問相談	その他	合計	電話相談	来所相談	訪問相談	その他	合計						
		473件	116件	66件	12件	667件	632件	105件	72件	28件	837件						

事業所名	天王寺区障がい者相談支援センター	変更又は改善内容
<p>2-3 日々の相談件数の分析</p>	<p style="text-align: center;">平成28年度</p> <p>1. 相談支援 ケース報告 2017.3月末時点 ① 登録者数 …13名 (身体:3名 知的:4名 精神:3名 重複:2名 児童1名)</p> <p>② 実人数 4月:65名 5月:70名 6月:85名 7月:70名 8月:43名 9月:40名 10月:41名 11月:72名 12月:46名 1月:44名 2月:46名 3月:45名 計667名</p> <p>③ 延べ支援件数 4月:71件 5月:80件 6月:103件 7月:70件 8月:47件 9月:43件 10月:44件 11月:77件 12月:46件 1月:44件 2月:50件 3月:48件 計724件</p> <p>④ ケース構成比 身体:26% 知的:9% 精神:48% 重複(児・その他含め):28%</p> <p>⑤ 相談種別 来所:17% 電話:71% 訪問:10% その他:2%</p> <p>⑥ 特定相談支援(計画相談)契約者数 …28名 (身体:9名 知的:4名 精神(自立医療精神含め):12名 重複:3名)</p> <p>2. 相談支援 活動報告 ① 天王寺区自立支援協議会への参画 (開催:奇数月 第三水曜・運営委員会:偶数月 第三水曜) 施策・制度・サービスの説明、事例検討、相談会3回/年、研修や勉強会など</p> <p>② 天王寺区アクションプラン推進会議への参画</p> <p>③ 各地域会議への参画、支援センター連絡会、区センター合同事例検討会など</p> <p>④ 障がい者虐待対応 →平成28年度 通報受理:0件 コアメンバー会議参加:2件 天王寺区障がい者・高齢者虐待防止連絡会出席(平成28年12月15日)</p> <p>3. 状況報告 ① 現状 周知広報等の成果により相談件数は増加傾向(27年度のおよそ2.4倍)</p> <p>② 課題 ・アウトリーチによる潜在ニーズの掘り起し ・地域とのネットワーク構築 ・幅広い相談支援援助 ・社会資源の把握・開発 ・区内特定相談支援及び障害児相談支援事業所の充実 ・重度障害者の日中活動場所の不足(送迎の問題をはらんでいる) ・重度訪問介護等の長時間介護の担い手不足 ・医療的ケアを担える社会資源の不足 ・障がい者住宅入居等支援事業の周知の必要性 ・グループホーム等を含む住まいの場の確保 ・法人の持つ人材や専門的ノウハウの有効活用</p>	<p style="text-align: center;">平成29年度</p> <p>1. 相談支援 ケース報告 2018.3月末時点 ① 登録者数 …14名 (身体:3名 知的:4名 精神:3名 重複:3名 障がい児:1名)</p> <p>② 実人数 4月:45名 5月:46名 6月:61名 7月:81名 8月:80名 9月:70名 10月:86名 11月:57名 12月:73名 1月:81名 2月:87名 3月:70名 計837名</p> <p>③ 延べ支援件数 4月:49件 5月:50件 6月:61件 7月:85件 8月:107件 9月:95件 10月:100件 11月:64件 12月:82件 1月:92件 2月:105件 3月:95件 計985件</p> <p>④ ケース構成比 身体:16% 知的:9% 精神:62% 重複(児・その他含め):10%</p> <p>⑤ 相談種別 来所:12% 電話:75% 訪問:8% その他:3%</p> <p>⑥ 特定相談支援(計画相談)契約者数 …15名 (身体:5名 知的:2名 精神(自立医療精神含め):7名 重複:1名)</p> <p>2. 相談支援 活動報告 ① 天王寺区自立支援協議会への参画 (開催:奇数月 第三水曜・運営委員会:偶数月 第三水曜) 施策・制度・サービスの説明、事例検討、相談会4回/年、研修や勉強会など</p> <p>② 天王寺区アクションプラン推進会議への参画</p> <p>③ 各地域会議への参画、支援センター連絡会、区センター合同事例検討会など</p> <p>④ 障がい者虐待対応 →平成29年度 通報受理:0件 コアメンバー会議参加:2件 天王寺区障がい者・高齢者虐待防止連絡会出席(平成29年12月13日)</p> <p>3. 状況報告 ① 現状 周知広報等の成果により相談件数はさらに増加傾向</p> <p>② 課題 ・アウトリーチによる潜在ニーズの掘り起し ・地域とのネットワーク構築 ・幅広い相談支援援助 ・社会資源の把握・開発 ・区内特定相談支援及び障害児相談支援事業所の充実 ・重度障害者の日中活動場所の不足(送迎の問題をはらんでいる) ・重度訪問介護等の長時間介護の担い手不足 ・医療的ケアを担える社会資源の不足 ・障がい者住宅入居等支援事業の周知の必要性 ・グループホーム等を含む住まいの場の確保 ・法人の持つ人材や専門的ノウハウの有効活用</p>

事業所名	天王寺区障がい者相談支援センター	変更又は改善内容
3 区における地域課題について		
区における全般的な課題についての現状認識及びその解決・改善に向けた提案・提言など	平成28年度	平成29年度
	<p>○天王寺区における地域課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチによる潜在ニーズの掘り起し ・地域とのネットワーク構築 ・幅広い相談支援援助 ・社会資源の把握・開発 ・区内特定相談支援及び障害児相談支援事業所の充実 ・重度障害者の日中活動場所の不足（送迎の問題をはらんでいる） ・重度訪問介護等の長時間介護の担い手不足 ・医療的ケアを担える社会資源の不足 ・グループホーム等を含む住まいの場の確保 ・地域における障害当事者リーダーの養成 	<p>○天王寺区における地域課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチによる潜在ニーズの掘り起し ・地域とのネットワーク構築 ・幅広い相談支援援助 ・社会資源の把握・開発 ・区内の相談支援事業所の充実（特定・一般・障害児） ・重度障害者の日中活動場所の不足（送迎の問題をはらんでいる） ・重度訪問介護等の長時間介護の担い手不足 ・医療的ケアを担える社会資源の不足 ・病院等医療関係者との連携強化 ・グループホーム等を含む住まいの場の確保 ・地域における障害当事者リーダーの養成

事業所名		天王寺区障がい者相談支援センター	変更又は改善内容
4 自己評価を終えて		平成28年度	平成29年度
4-1 区地域自立支援協議会での報告			
	報告日	平成29年7月19日	平成30年7月18日
	出席者からの意見		
	0 相談支援事業所の概要		
	1 事業運営全般		<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援学校との連携はどのような形で行われているのか。 ・ 複合的問題を抱えた困難事例にはどのようなものがあるのか教えてほしい。
	2 日々の相談支援業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価だけでなく、委託している大阪市からの評価も知りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚障害者からの相談が数件あるようだが、どのような内容のものがあるのか知りたい。 ・ 障害者差別に関する相談事例を知りたい。
	3 区における地域課題について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区の地域特性や課題について協議会全体で共有した方が良いのではないか。 ・ 委託費のうち、人件費の割合が高いがそんなものなのか。 ・ 住宅入居等支援事業が0件である理由如何 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅入居等支援事業がゼロ件である理由を教えてほしい。

事業所名	天王寺区障がい者相談支援センター	変更又は改善内容
4-2 一連の自己評価のプロセスを終えて	平成28年度	平成29年度
	<p>受託1年目である平成27年度に比して相談支援件数はおよそ2.4倍に増加している。関係機関から繋いでもらうケースも増えてきており、地域ネットワークの構築や区障がい者相談支援センター事業の周知広報に一定の成果があったと感じている。しかしながら、住宅入居等支援事業についての実績は0件であり、地価が高い地域性が多少影響していると考えられるものの、改善の余地は多い。</p> <p>また、平成30年度に予定されている障害者総合支援法の改正についての周囲関心は高く、各方面からの問い合わせ等も多い。このような障害福祉諸制度の改正・施行等の情報を区と連携しながら収集し、特定相談支援事業所をはじめとする地域の各機関に提供するなど後方支援に生かしていきたい。</p>	<p>委託3年目である今年度の相談件数は前年度よりさらに増加したが、相談内容の特色としては、いわゆる8050問題を抱えるケースや触法障がい者の地域移行支援など、障がい福祉の垣根を越えてチームでアプローチする事例も多くみられ、地域における強固な支援ネットワークの必要性を改めて感じた。また、当センターの相談件数の伸びに比べ、区内の計画相談利用率は決して高いとは言えず、指定特定相談（計画相談）事業所をはじめとする地域の社会資源不足の解消は引き続きの課題である。課題解決には地域ネットワークの中心としての自立支援協議会の存在は大きく、より活発な運営が重要であると考えている。そのことを、平成30年度から新たに天王寺区障がい者基幹相談支援センターとして事業を受託された後任の法人へ託し、自己評価を終えた。</p>